

## 公開講演: 能の表現と創造力

日時 : 2016年12月12日(月) 10:40~12:10

会場 : お茶の水女子大学 本館 306 教室 **聴講無料 (事前申し込み不要)**



### 講師プロフィール:

佐野 登 SANO Noboru  
(宝生流 能楽師 シテ方)

重要無形文化財総合指定(能楽)保持者。東京藝術大学卒。宝生流 18代宗家宝生英雄に師事。全国各地での演能活動、謡曲・仕舞を指導。「生きる力」をテーマに学校・幼児教育における次世代育成の日本の伝統・文化理解、体験型プログラムや授業を実施。教員・教育関係者への講演も多数行う。海外公演への参加や中島みゆき「夜会」出演をはじめ、他ジャンルのアーティストとの交流も多く、現代に生きる能楽を目指し、積極的に活動をしている。

能の表現方法について能「羽衣」を事例にご紹介します。

能には「型」に代表されるように様式美として知られる芸能ですが、日本の伝統文化のなかで日本人が常套的に使用していた伝承方法としての「型」の意味を通じて伝統がもつ真価に迫ります。そこには日本人の美意識だけでなく、誰に対して表現し、何を伝えてこようとしてきたかに触れていきます。



**\* LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席し、レポートを提出することにより、授業の出席として認められます。**

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子  
nakamura.minako@ocha.ac.jp